



まい 埋蔵文化財

No.25
千葉県八千代市
埋蔵文化財通信
2011.6.30

平成22年度を振り返って

今回は、平成22年度の事業内容を振り返ってみたいと思います。

発掘調査

発掘調査は、11遺跡12地点の確認調査と5遺跡の本調査を行いました。

比較的小規模な調査が多かったのですが、年度を通じて平均的に調査が行われた一年でした。個々の調査の概要や遺跡の位置は、下の表や次ページの図などを参照して下さい。

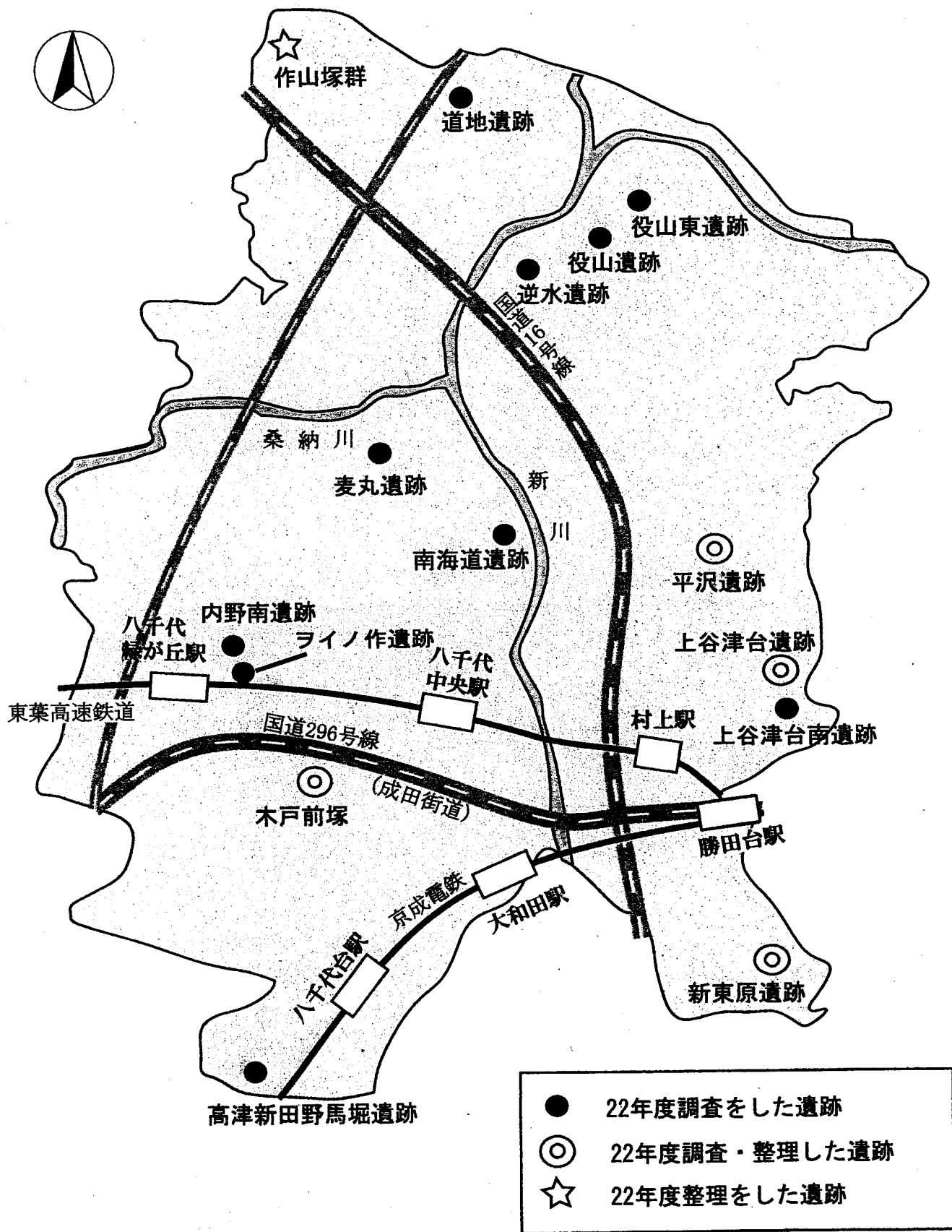
確認調査一覧

遺跡名(地区)	期間	面積	調査概要	備考
木戸前塚(大和田新田)	4/19~5/7	60/563㎡	近世 塚1基・土坑2基	本調査へ
上谷津台南遺跡f地点(上高野)	6/15~7/2	70/655㎡	縄文土器	
役山東遺跡c地点(米本)	8/6~8/17	150/1,430㎡	縄文時代 落とし穴1基 古墳時代 竪穴住居跡1軒	
高津新田野馬堀遺跡j地点(八千代台南)	8/9~8/16	106/1,080㎡	近世 野馬堀1条	
内野南遺跡e地点(吉橋)	9/7~9/24	90/1,072㎡	縄文土器	
ライノ作遺跡b地点(緑が丘)	10/5~10/8	24/221㎡	無し	
麦丸遺跡g地点(麦丸)	11/10~11/15	26/336㎡	無し	
逆水遺跡g地点(米本)	11/16~12/2	430/4,255㎡	縄文時代 竪穴住居跡1軒・落とし穴1基 土坑1基	
役山遺跡b地点(米本)	12/16~12/27	102/999㎡	縄文時代(早期) 炉穴10基・土坑7基 弥生時代 竪穴住居跡2軒 古墳時代 方形周溝状遺構1軒	
道地遺跡f地点(佐山)	1/11~1/18	25/248㎡	縄文土器 弥生土器	
麦丸遺跡h地点(麦丸)	1/24~1/28	200/1,987㎡	縄文時代 落とし穴1基・土坑1基 古墳時代 土坑1基	本調査へ
南海道遺跡(萱田)	3/2~3/8	16/173㎡	古墳時代 竪穴住居跡1軒・土坑1基	

本調査一覧

遺跡名(地区)	期間	面積	調査概要	備考
平沢遺跡b地点(上高野)	4/6~4/21	640㎡	縄文時代(後期) 土坑2基 弥生時代 竪穴住居跡4軒 奈良平安 溝1条・土坑5基	21年度から継続
新東原遺跡j地点(勝田)	5/6~5/31	400㎡	奈良平安 溝2条・方形周溝状遺構1基	
木戸前塚(大和田新田)	6/15~7/9	160㎡	近世 塚1基・土坑2基	
上谷津台遺跡a地点(上高野)	7/14~8/2	180㎡	中近世 溝1条・台地整形遺構1基 土坑3基	
麦丸遺跡h地点(麦丸)	2/14~2/16	11㎡	縄文時代 落とし穴1基・土坑1基 古墳時代 土坑1基	

22年度に調査・整理等を行った遺跡

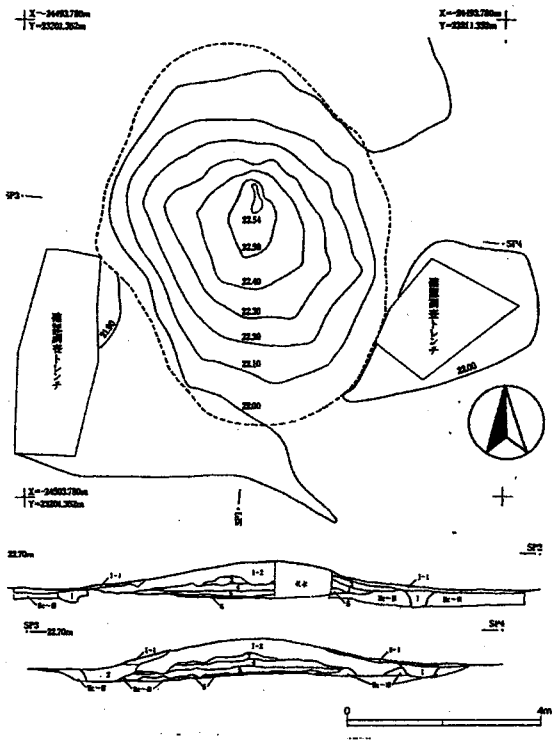


- 22年度調査をした遺跡
- ◎ 22年度調査・整理した遺跡
- ☆ 22年度整理をした遺跡

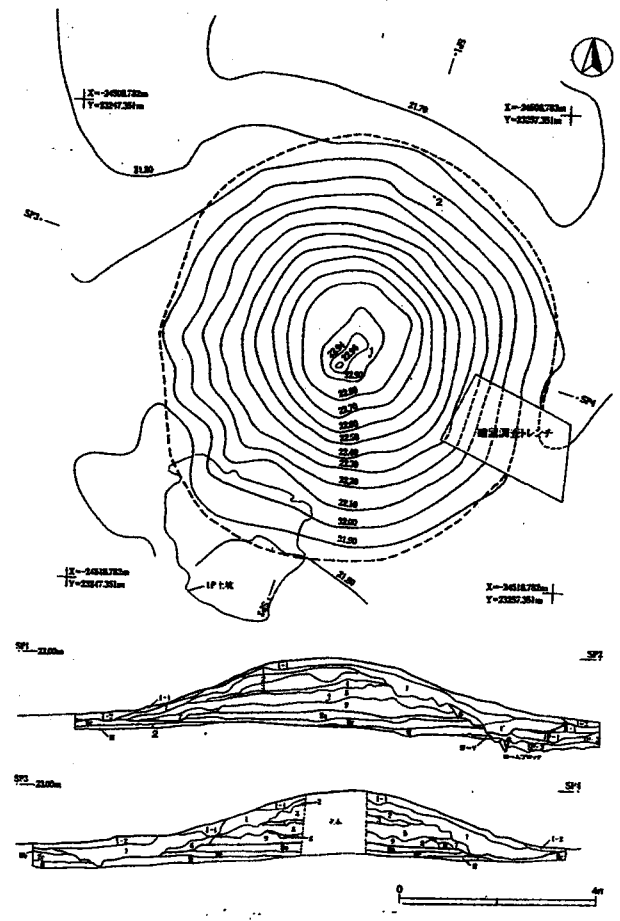
年表

縄文時代					弥生時代	古墳時代	奈良・平安	中世	近世
早期	前期	中期	後期	晩期					
10,000年前～	6,000年前～	5,000年前～	4,000年前～	3,500年前～	3,000年前～	1,700年前～	1,300年前～	800年前～	400年前～

※ 時代区分には諸説あります。

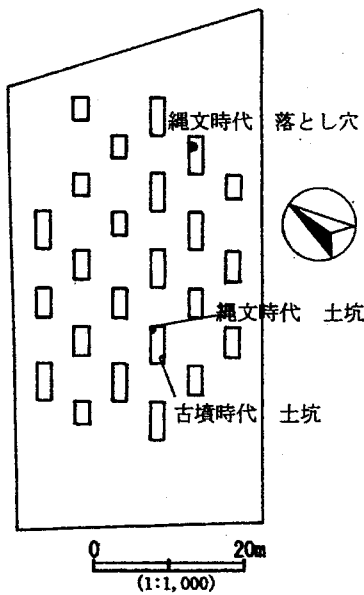


1号塚測量図・土層断面図



2号塚測量図・土層断面図

作山塚群 小池地区に所在する近世の塚群です。平成21年度に調査を行い22年度に報告書を刊行しました。

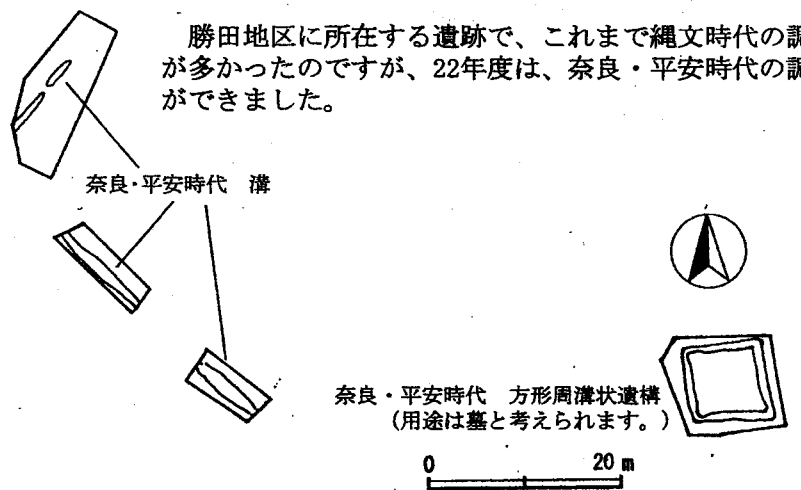


麦丸遺跡h地点 (確認調査)

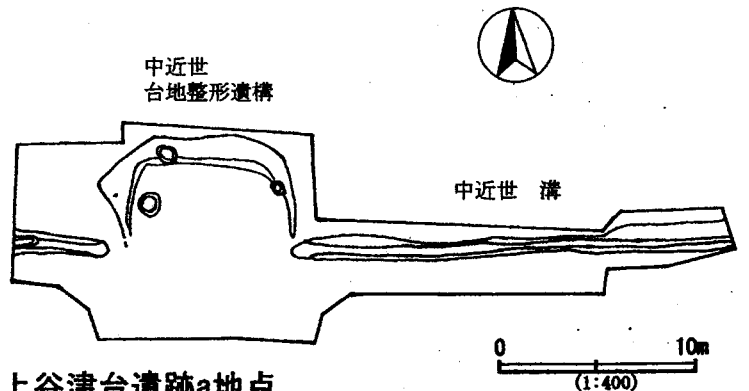
麦丸に所在する遺跡で縄文時代の落とし穴等が検出されました。22年度中に本調査までを行い、整理作業は23年度に予定しています。

新東原遺跡 j 地点

勝田地区に所在する遺跡で、これまで縄文時代の調査が多かったのですが、22年度は、奈良・平安時代の調査ができました。

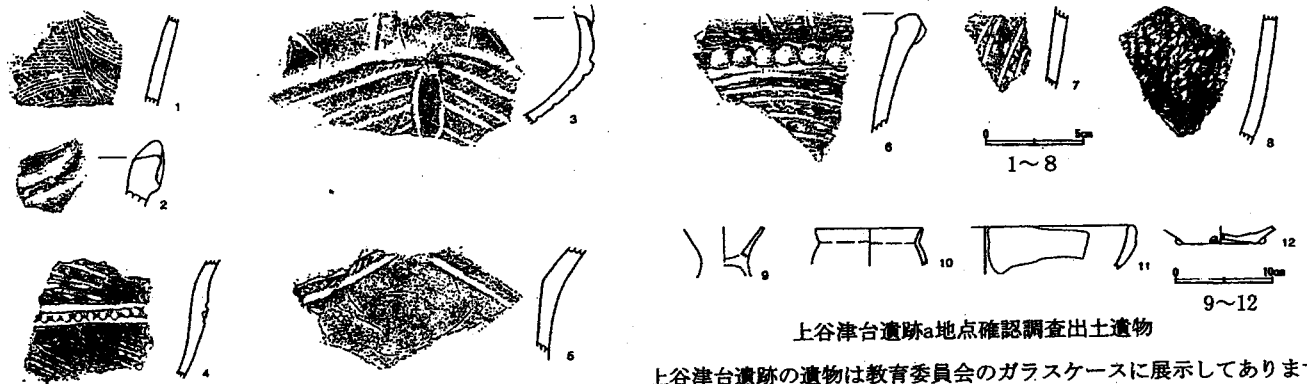


中近世 台地整形遺構



上谷津台遺跡a地点

上高野地区に所在する遺跡で、周辺は、縄文時代の遺構・遺物が多かったのですが、22年度は、中近世の調査ができました。



上谷津台遺跡a地点確認調査出土遺物
 上谷津台遺跡の遺物は教育委員会のガラスケースに展示してあります。

整理作業

整理作業としては、まず、平成21年度に調査を行った小池地区の作山塚群の整理を行い、報告書を刊行しました。また、平成21年度に行われた市内遺跡確認調査についても、22年度に整理作業を行い、「平成22年度市内遺跡発掘調査報告書」として刊行しました。

22年度に本調査を行った木戸前塚・平沢遺跡・上谷津台遺跡・新東原遺跡は、22年度中に整理作業に着手し、報告書刊行は、平成23年度中に予定しています。

普及・啓発、その他の事業

普及・啓発事業として、昨年からは始めた出土文化財展示会（場所：勝田台駅ステーションギャラリー）を8月と12月の2回行うことができました。8月の回は、縄文時代の出土遺物の展示で12月の回は、保存処理を行った鉄製品が中心の展示で、それぞれ約140名、約260名の方々にご来場いただきました。また、1月には、緑が丘小学校で出土遺物の展示会を行いました。

10月には、まちづくりふれあい講座の一環で、市民団体の方々に対して「八千代市の文化財」について職員の出前講座を行いました。同じく10月に、八千代市立郷土博物館の企画展示「八千代の遺跡—むらかみの土の中から—」の関連行事として職員が講演会の講師を務めました。

例年行われている鉄製品の保存処理については保品地区の上谷遺跡出土の帯金具や小刀等に対して行いました。

年度末には、教育委員会1Fにあるガラスケースの展示内容を変更しました。先ほど述べた上谷遺跡の帯金具や「平成22年度市内遺跡発掘調査報告書」の掲載遺物などを展示してあります。お立ち寄りの際は是非、ご覧ください。

終わりに

平成22年度の反省は、「埋やちよ」が1回しか刊行できなかったことにあります。今年度は、年3回程度の刊行をめざし、調査・整理・普及啓発に取り組んでいきたいと思えます。

—編集後記—

昨年度は諸般の事情で予定が大きく変わってしまいました。今回は、作山塚群・木戸前塚の特集をしたいと思います。

埋（まい）やちよ No.25

—千葉県八千代市埋蔵文化財通信—

平成23年6月30日

編集・発行 八千代市教育委員会
 教育総務課文化財班

八千代市大和田138-2